

2024年度 東京YMCA国際ホテル専門学校 自己評価

1. 学校の教育目標

本校の教育目標は、ホテル・観光課程において以下の学生を育成し、日本のホテル観光業界に寄与する学生を輩出することが使命である。

- ①ホスピタリティ溢れる人材の養成
- ②サービススキルはもとより、世界各国から訪日されるゲストをもてなす知識と技術の体得
- ③コミュニケーション力に溢れ、人と人の出会いの場と、豊かな人間関係が育まれる教育を目指す。

2. 本年度に定めていた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ①Practice Hospitalityを教育理念の1つとし、職業実践教育を継続して行う。（ホテルでの通常実習制度の充実）
- ②1学生が2資格以上、資格取得することができるようにする。
- ③就職率95%以上を維持する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

(1) 教育の理念・目標

評価

1 学校の理念・目標や育成する人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
2 学校における職業教育の特色は何か	4
3 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
4 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4
5 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

《現状・課題》

日本で「最初のホテル学校」として開校以来、キリスト教精神に基づく「精神・知性・身体」の調和のとれた全人教育を理念として掲げています。本校の教育理念・目的・育成人物像は、建学の精神及び「努めて旅人をもてなしなさい」というスクールモットーと併せて、入学前から学生・保護者に説明されています。コロナ以降、訪日外国人の増加に伴う需要が高まり、また多様化が進むホテル観光業界のニーズに応えるべく、ボランティアに溢れ、グローバルに活躍できる人材の育成に努めます。

(2) 学校運営

評価

1 目的等に沿った運営方針が策定されているか	3
2 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3
3 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確にされているか、有効的に機能しているか	3
4 人事や給与に関する規定等は整備されているか	4
5 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
6 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
7 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
8 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

《現状・課題》

法人本部が策定する中長期事業計画に基づき、本校も中期及び年度単位で作成された事業計画に沿った学校運営を行っています。財務・労務のシステム面では、法人本部各部署と連携し、ITC化を進め関連業務の負担軽減に繋がっています。次年度は、常勤スタッフに対して新人事考課制度を導入し、適正な昇進・昇給、給与規定を図ります。

(3) 教育活動

評価

	評価
1 教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
2 教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4 キャリア教育・実践的な職業教育の視点にたったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
5 関連分野の企業・時間系施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの見直し等が行われているか	3
6 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技、実習等）が体系的に位置づけられているか	4
7 授業評価の実施・評価体制はあるか	4
8 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
9 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
10 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
11 人材育成の目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
12 関連分野における業界等の連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3
13 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力養成など資質向上のための取組が行われているか	3
14 職員の能力開発のための研修等が行われているか	2

《現状・課題》

「ホテル企業実習」をはじめとする「実践的な職業教育」を重視しており、定期的に産学連携によるカリキュラムの検討と編成を行っています。就職指導に関しては、株式会社リクラブの協力を得て、就職指導室と担任を加えた3WAY体制で学生を支援しています。今後は、教員・講師のスキルアップを目的として、講師会等で定期的な研修機会を増やします。

(4) 学修成果

評価

1 就職率の向上が図られているか	4
2 資格取得率の向上が図られているか	4
3 退学率の低減が図られているか	3
4 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
5 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

《現状・課題》

コロナ以降、内定率・就職率は順調に推移し安定しています。学生の学習、学校生活状況は、教員と講師が連携し情報共有に努めていますが、経済的事情で退学する学生が一定数います。2学期以降は各種の資格取得に向けた「検定試験対策講座」を複数科目開講し、学生の取得資格取得をサポートしています。就職指導室と教員を中心に、卒業生及び就職先とのコミュニケーションを図り、就職後の動向把握に努めています。卒業生による特別授業も定期的に行い、学校・在校生との関係性を深めることに繋がっています。

(5) 学生支援

評価

1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
2 学生相談に関する体制は整備されているか	4
3 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
4 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
5 課外活動に対する支援体制は行われているか	4
6 学生の生活環境に対する支援体制は整備されているか	3
7 保護者と適切に連携しているか	3
8 卒業生への支援体制はあるか	4
9 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
10 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	4

《現状・課題》

教務課長の下、学生指導室、就職指導室に加え、各クラス担任を配置し、一人ひとりの学生の個性・適正・志望に沿った学習・就職指導を行っています。法人グループ内の高等学院・日本語学校・他分野専門学校との協働によるキャリア・職業教育、学外活動の幅が広がりつつあります。また、東京YMCAを支えてくださるボランティア組織や卒業生校友会より奨学金支援を受け、学生たちへ給付しています。

(6) 教育環境

評価

1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
2 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
3 防災に対する体制は整備されているか	3

《現状・課題》

全教室にプロジェクターとスクリーンを完備し、ノートPCによるオンライン授業体制が整備された。経済的な外部要因の影響を受ける海外研修については、日数・訪問先等の検討と研修内容の熟慮を重ねながら、学生の負担が増えない範囲での実施を継続しています。毎年法令に基づき、地震と火災を想定した全学生・教員を対象とする防災訓練を実施しています。

(7) 学生の受入募集

評価

1 学生募集活動は適正に行われているか	4
2 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
3 学納金は妥当なものとなっているか	4

《現状・課題》

学生募集活動は、手法・内容ともに適正に行われ、必要な学校情報は入学案内書やHPにて公開されています。本校が求める「ホスピタリティ溢れる人材像」をより具体的なイメージで伝える手法の検討が必要であると考えます。学納金は、理事会・評議員会で教育環境・教育内容を参照の上、検討・承認がなされ、適正に決定しています。

(8) 財務

評価

1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3

2 財務について会計監査が適正に行われているか	4
3 財務情報公開の体制整備はできているか	4

《現状・課題》

財務基盤は、法人本部・学校事業部と連携のうえ中期計画を立て、理事会・評議員会の確認を経て執行・管理を行い安定しています。年4回の監事と監査法人による会計監査を実施しており、財務情報の公開も行っています。

(9) 法令遵守

評価

1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
3 自己評価の実態と問題点の改善を行っているか	3
4 自己評価結果を公開しているか	3

《現状・課題》

法人本部に配置されている法務の専門家と連携し、法令遵守の体制を整えています。個人情報の取り扱いについては、毎年の講師会にてルール確認と注意喚起を行い、個人情報保護の徹底に努めています。自己評価結果は、学校HPにて公開しています。

(10) 地域貢献・社会貢献

評価

1 学生の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
2 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
3 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

《現状・課題》

YMCAの特性と強みを活かし、「被災地支援活動」「街頭募金活動」「チャリティーイベント」など東京YMCAが主催する様々な社会貢献活動への呼び掛けを行っており、学生たちも各種ボランティア活動に積極的に参画しています。24年度は、全国YMCAとの協働による「能登豪雨災害支援（現地支援活動）」をリレー形式で実施しました。